

第2回 理工学における同位元素研究発表会

— 論 文 募 集 —

このたび、関係諸学・協会の共同主催で、標記の研究発表会を開催することになりました。この研究発表会の目的は、異なった専門分野の研究者が一堂に会し、同位元素および放射線の利用の技術を中心とした研究、およびその技術の基礎となる研究の発表と討論を行ない、各専門分野間の知識と技術の交流を図ろうとするものであります。気象学会の会員各位におかれては奮ってご応募、ご参加下さることを希望いたします。

会 期 昭和40年4月20日(火)~22日(木)の予定

会 場 東京大学

共同主催者 日本気象学会を含む43学協会

発表論文

(1)内容 それぞれの研究分野において、その専門的成果を得るにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素、放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお、得られた専門的成果の報告も差しつかえありません。

研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。

(2)発表申込区分 プログラム編成の便宜上、つぎのように申込区分を設けます。

- ① 放射性同位元素による放射線照射に関するもの(線源および装置に関するものを含む)
- ② 放射性同位元素以外の放射線発生装置による放射線照射に関するもの(装置に関するものを含む)
- ③ ラジオグラフィに関するもの(装置に関するものを含む)
- ④ オートラジオグラフィに関するもの
- ⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの
- ⑥ トレーサー的利用に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑦ 分析に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑧ 放射性同位元素の製造、分離、精製に関するもの
- ⑨ 化合物の合成、標識化に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑩ 放射線測定法および測定器に関するもの
- ⑪ 放射線の遮蔽、施設、設備など安全取扱に関するもの
- ⑫ 廃棄物処理、汚染除去に関するもの

⑬ 保健、健康管理に関するもの

⑭ その他

(3)発表時間 1件の発表15分以内の予定

発表者の資格 発表申込者が所属する主催学・協会の年会(大会)等の規定または慣例に従う。

発表申込 所定の申込書(1件1通)によりお申し込み下さい。所定の申込書は、下記あて請求して下さい。

東京都文京区駒込上富士前町31番地(理研内)

日本放射性同位元素協会内

理工学における同位元素研究発表会運営委員会

電話 東京 946局 7111番(代表)

発表申込締切: 昭和40年1月30日(土)必着

講演要旨 講演要旨集を発行します。発表申込があり次第所定の原稿用紙(1,200字程度)をお送りします。

講演要旨原稿締切: 昭和40年2月27日(土)必着

その他

(1) この研究発表会の運営は、主催学・協会より選出された各1名の委員で構成された運営委員会において行ないません。

(2) フルペーパーの報文集は特に発行しません。

なお、日本放射性同位元素協会の学術機関誌“Radio-isotopes”にはこの研究発表会の発表論文にかぎり、同位協会会員外でも投稿することができます。

(3) つぎのいずれかに該当する場合には発表をお断りしますから、ご注意ください。

i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合。

ii) 発表者の資格が、所属主催学・協会の規定または慣例に合致しない場合。

iii) 期日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合。